

令和 4 年 3 月 定例会

予算委員会
全体会会議録
(新年度・その 2)

3 月 1 8 日 (金)

令和４年第１回 予算委員会会議録

○日 時 令和４年３月１８日（金）

○場 所 議会棟２階 議場

○付議事件 議案第２１号 令和４年度防府市一般会計予算

○出席委員（２４名）

委員長	曾我 好則
副委員長	吉村 祐太郎
委員	青木 明夫
委員	石田 卓成
委員	今津 誠一
委員	牛見 航
委員	宇多村史朗
委員	梅本 洋平
委員	河杉 憲二
委員	河村 孝
委員	久保 潤爾
委員	清水 力志
委員	高砂 朋子
委員	田中 健次
委員	田中 敏靖
委員	橋本龍太郎
委員	藤村こずえ
委員	松村 学
委員	三原 昭治
委員	村木 正弘
委員	森重 豊
委員	安村 政治
委員	山田 耕治
委員	和田 敏明

○欠席委員（なし）

○その他の出席者

議長	上田 和夫
----	-------

○討論に出席した者（１３名）

教育長	江山 稔
総務部長	熊野 博之
総合政策部長	石丸 泰三
地域交流部長	能野 英人
生活環境部長	入江 裕司
健康福祉部長	藤井 隆
産業振興部長	白井 智浩
土木都市建設部長	石光 徹
会計管理者	寺畑 俊孝
教育部長	杉江 純一
議会事務局長	藤井 一郎
消防長	米本 静雄
上下水道事業管理者	河内 政昭

○出席書記

秋里 あゆみ

午後０時５９分 開会

○曾我委員長 ただいまから予算委員会を開催いたします。少し早いんですが、全員そろわれているということでよろしくお願いします。

初めに地域交流部より、去る３月１１日の全体会におきまして松村委員の質疑に対する答弁を訂正したい旨の申出がございましたので、これを許可します。

○能野地域交流部長 さきの予算委員会全体会で御質問がございました、魅力ある観光地づくりに関する観光看板に関する答弁の訂正でございます。

更新する看板の枚数について１８枚と答弁いたしましたが、２８枚の誤りでございました。訂正してお詫び申し上げます。よろしくお願いいたします。

○曾我委員長 松村委員、よろしいですかね。

○松村委員 はい。

議案第 2 1 号 令和 4 年度防府市一般会計予算

○曾我委員長 それでは、これより議案第 2 1 号令和 4 年度防府市一般会計予算についての審査を行います。

委員の皆様におかれましては、分科会での御審査大変お疲れさまでした。

各分科会主査から分科会において審査した結果、全体会で審査すべき事項はない旨の報告を受けております。

したがいまして、主査の報告に対する質疑を省略し、議員間討議を行います。

どなたかございますでしょうか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○曾我委員長 ないようですので、議員間討議を終結し、討論を求めます。

○清水委員 議案第 2 1 号令和 4 年度防府市一般会計予算について、反対の立場を表明いたします。

当初予算規模は 4 6 8 億 3, 0 0 0 万円、過去最大規模となっております。新庁舎建設事業や新型コロナウイルス感染症対策事業など大規模な事業が多くございます。その中でも政府が進めているデジタル化推進事業について、防府市においてもマイナンバーカード普及促進事業や公民館機能強化や行政手続きのデジタル化など、コロナ禍における感染防止対策や事務負担を軽減するための事業そのものには問題はないと考えます。しかしながら、セキュリティ上の問題が起きた場合の対処や市民への対応なども含めて、反対に市の事務負担の増加は避けられないものと考えます。

さらに加えて、市民ニーズの多様化や市の業務量の増加、新型コロナウイルス感染症対策や災害時の対応を考えますと、これまでの行政改革による職員数の減少、とりわけ専門職や技術職の不足は深刻で、職員の配置と業務量のバランスがとれているのか、残業が恒常的になっていないか、またそういったところから職員の健康を壊すようなことが起きていないかと危惧しており、もっと正規職員の増員を図らなければならないと考えております。

また、新庁舎建設についていよいよ工事が始まりますが、山口県議会においても当初予算で防府警察署移転に関する予算が計上されました。市役所敷地内への警察署移転要望については、知らなかったという市民はまだ多くいらっしゃいます。これまで市広報などでお知らせされたと思いますが、一方的な情報提供ではなく、市民の意見も聞く双方向での説明会を開催するべきだと考えます。

新年度予算では市民要望を積極的に取り入れた事業も予算化されておりまして、この辺では大変評価をいたしますけれど、以上の述べた点で一般会計予算には賛成しがたいとして、討論をさせていただきます。

以上です。

○曾我委員長 ほかにございませんでしょうか。

○村木委員 議案第21号令和4年度防府市一般会計予算に対し、「公明党」として賛成の立場で討論をいたします。

本予算案は、防府のまちづくりを着実に推進するため「輝き！ほうふプラン」に基づく諸施策の実行など、未来を形づくる予算となっています。令和3年度補正予算と一体的に16か月予算として編成され、新型コロナウイルス感染症の感染対策及び市民生活の経済回復へ、切れ目のない予算となっています。

緊急性の高い防災・減災や教育環境整備や、「公明党」が推進するSDGsの理念に沿ったカーボンニュートラルの推進、誰一人取り残さないためのデジタル化推進事業や教育・福祉・環境にも関わる未来を見据えた重要な事業がしっかりと予算化されている点を高く評価いたします。

本予算案では、厳しい財政状況の中、昨年10月予算編成時には約17億円と見込まれた財源不足を国の交付金や、国や県の補助事業を積極的に活用することにより、中期財政見通しを下回る12億5,000万円まで圧縮されるとともに、事業の実行に柔軟性を持たせる成長再生推進基金の創設など、未来を切り開く予算案になっていることにつきましても高く評価いたします。

以上、令和4年度は防府市第5次総合計画の2年目であり、大型事業が本格的にスタートする重要な1年になります。新型コロナ対策はもとより、SDGsの基本理念である誰一人取り残さない精神で、ウィズコロナ社会において市民に寄り添う形で各事業一つ一つを丁寧に取り組んでいただきたいことを要望いたしまして、賛成討論といたします。

以上でございます。

○曾我委員長 ほかにございませんでしょうか。

○田中（健）委員 上程されている議案第21号令和4年度防府市一般会計予算に反対をいたします。

最初に市長選挙との兼ね合いから骨格予算とすべきということを申し上げます。さきの12月議会の一般質問の際に述べましたが、5月に市長選挙を迎えるわけですから、この予算案は骨格予算とし、義務的経費、経常的経費、継続的な事業、策定された総合計画によるもの、社会的に早急な対応が求められる新型コロナウイルス感染症対策などに限定し、

総合計画にない新規事業などは市長選挙後に肉付け予算として予算計上すべきものであらうと思います。

また、行政改革の中で民間委託が進められ、給食の民間委託などが実施されております。職員の配置が不十分で、業務が十分にできていないのではないかと、残業が恒常的になっている職場もあると聞き、これでは市民に対するサービスが不十分になることを指摘させていただき、十分な職員体制となることを求めていると考えております。

さらに、これまでの議会で反対してきたマイナンバーカードの普及を促進するための経費が含まれております。

そして、昨年の9月議会補正予算審議において、庁舎建設事業の債務負担行為で警察署の誘致を前提とした計画に基づき進めるものであり、警察署が移転されれば出入口の問題があり利用しにくくなること、周辺の交通渋滞を招くこと、確保できる防災広場がなくなることなどを理由に賛成しがたいことを申し上げました。その債務負担行為に基づく歳入歳出予算であります。

最後に、消費税を使用料に上乗せし、市民に負担を強いる問題があるということ、以上の点で、この予算は問題があると指摘し、反対の討論といたします。

○石田委員 議案第21号令和4年度防府市一般会計予算に会派「敬天会」として賛成の立場で討論させていただきます。

本予算案ですが、第5次総合計画、特にハード面においてしっかりと進んでいくなということが実感できる予算でございまして、この面においては国・県と協力してしっかりと頑張っているなと強く感じるところです。

ただ、思うところが、ソフト面においてまだまだ市全体の取組として不十分に感じているところもあります。私たち議員は周辺他市と比べて住民からいろんな声を聞くわけですね。もっともっとソフト面頑張りたいなと思うところも多々あります。

全体的には大いに評価できる、賛成しているのですが、1点だけ農業者としていかがかなという部分もございまして。この点について討論の中で意見を述べさせていただきます。

予算参考資料の226ページにある産地拡大促進事業、予算委員会全体会でも意見を言わせていただきました。この内容については、新規参入企業による園芸施設の施設整備の補助を想定しているということでございましたけど、この予算がボランティア作業に等しい土地利用型農業に関する予算であれば、私としては大賛成でございまして。しかし、これは企業の設備投資ということで、そもそも今まで過去において、国・県・市がこういうふうな農業に予算をつけて、輸出、6次化、産地化など様々な施策をやって、もうかった試しが本当にあるのかということを、私はいろんな農業者と接する中で常々感じております。

今まで中にはありました、そういうところも。

さらに弱い人を泣かせ、農家は立場が弱いんですけど、補助金を使って外国人研修生であるとか、新規就農者をただ働きさせて、草抜きだけやらせて、もうけているようなところは見たことがあります。しかし、それ以外のところで、まともにいっているところは見たことはありません、はっきり言って。

なぜ純粋にやって、もうからないのかと申しますと、そもそも一次産業特有の構造的な問題があるからでございまして、それは何かといいますと、価格決定権がないということに尽きるんだと思います。私も個人的にはもうかる農業の分野やってきました。輸出もやりました。6次化、直接販売もやりました。様々なことをやって辛うじて食えるレベルには達しております。しかし、みんながやらない分野だからこそ、辛うじてここまでいけているわけで、みんながやりだせば当然駄目になるわけ、要は隙間産業だからできたという、隙間をついてやっているからできたということでございます。

本来、こういうふうな企業への支援、商工関係の予算でやるべきだと考えております。現在、農家は化学肥料の高騰、燃料価格の高騰、米価の下落、畜産農家などでは円安と仕入価格の高騰で、餌の値段が上がっております。これらのお金を商社や農協、これらがかぶってくれることはありません。全部しわ寄せは末端の農家に行っております。

本来であればこういうところにしっかりと予算を配分して、要は農政の目的が何かと申しますと、国土保全と食糧需給率の向上、これ以外に何があるのかと私は考えております。

産業政策は経済産業省とかそっち系の予算で本来はやるべきことだと思っております。できないことに幾らお金つつこんだってできるわけない。構造の問題なんです。ヨーロッパの諸国なんかは、オランダ以外は全て公務員的な……。

○曾我委員長 石田委員、そろそろまとめてください。

○石田委員 公務員的な扱い、アメリカにおいても国策によって農家を守っております。日本においても、こういうことができるようになるよう夢見て声を上げ続けておりますが、なかなかならないわけでございますが、こういった面もあるということを執行部におかれては重々御認識いただいた上で、次年度からの予算をしっかりと考えていただきたいなど要望を申し上げて、賛成の討論とさせていただきます。

以上です。

○曾我委員長 賛成なんですね。ほかにございませんでしょうか。

○牛見委員 議案第21号令和4年度防府市一般会計予算に「自由民主党」として賛成の立場を表明し、討論をさせていただきます。

令和4年度予算は総額468億3,000万円と対前年度比25億4,000万円増、

率にして5.7%増という過去最大の予算となりました。この予算については防府のまちづくりを着実に推進するため「輝き！ほうふプラン」に基づく諸施策の実行、カーボンニュートラルやデジタル化に向けた取組の積極的な推進、感染症対策や経済対策など緊急的な対策の実行など、防府の未来を形づくる予算として編成されております。

また、予算編成時に約17億円と見込まれた財源不足においても、感染症対策や経済対策などの緊急的な対応により拡大したものの、国の地方財源対策や国・県などの補助制度を積極的に活用するなど様々な対策がなされた結果、中期財政見通しや令和3年度の財源不足を下回る12億5,000万円となっておることなど、コロナ禍が続く中、大変難しいかじ取りを強いられる中でこのような予算編成をされたことは、執行部の意気込みの表れと高く評価いたします。

令和4年度防府市一般会計予算は、明るく豊かで健やかな防府市の実現を期待するにふさわしい内容であることとして評価いたすところでございます。

以上のことから、令和4年度防府市一般会計予算へ賛成の討論とさせていただきます。

○曾我委員長 ほかにございませんでしょうか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○曾我委員長 ないようですので、討論を終結してお諮りいたします。

本案については反対の意見もございますので、挙手による採決といたします。

議案第21号について、これを承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者 挙手〕

○曾我委員長 挙手多数でございます。よって、議案第21号については、原案のとおり承認されました。

これをもって予算委員会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。

午後1時15分 閉会

防府市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和4年3月18日

防府市議会予算委員会委員長 曾 我 好 則